



たかくわ だいじろう
190cm 84kg
1973年8月10日生まれ
東京都出身 東京ヴェルディ1969

高桑 大二郎 TAKAKUWA Daijiro

GK

Q 今季の自分を自己採点すると？

A 全体的なバランスや周囲とのコミュニケーション不足という点を考慮すれば40〜50点なんですけど、終盤の自分のプレーだけを考えれば、65点くらいには達しているのかなと思っています。

Q 開幕戦からスクランブル的に出場。そして大量失点。こんな始まり方をどう思う？

A ポジション争いに挑む覚悟はできていたんですが、こんな形でというのは予想していませんでした。結局、最初は上手くいかず、すごく悩んでいた時期もありました。ただ、「やることはつ」とわかっていたので練習にはすごく打ち込めていたと思います。

Q 大量失点で始まった今季ですが、キャンプでの守備陣はどうだったのですか？

A 正直、あまり良くなかったですね。新加入のガスバルを含めた3バックが、簡単に裏を取られたりして、上手くいってなかったにも関わらず、守備の練習にあまり時間が割かれず、攻めのパス回しといった攻撃の練習がすごく多くて、僕も含めた守備陣はみんな不安を感じていたはず。そこにナ

べ（渡邊）のケガなども重なり…。いろんな要素が悪い方向に向かっていったのが、序盤だったんじゃないでしょうか。

ただ守備練習が少ないことなどに関しては、もっと早い段階で監督に対して何らかの形で不安を伝えられていればと思います。

Q 序盤は高桑選手自身、どこから手を付けたら良いのかわからないという感じ？

A 3バック自体、トルシエの代表くらいしか経験が無かったから、僕自身も戸惑いがありましたし、きつと監督も悩んでいたと思います。ただ実際、4、5失点といった大量失点となると、それはもうシステムがどうという次元の話ではなく、全体のバランスなどがすでにおかしかった気がします。守備陣はビデオなどで何度も問題を検証したし、僕自身もコーチングなど、やることはみんなやっていましたからね。

Q しかし失点は徐々に減少。同時に高桑選手のプレーも向上したと思うのですが、ご自身の復調のきっかけとなったのは？

A フロントに4-1で負けた時に、我那覇に獲られた4点目が、僕自身すごく

納得がいかなかったんです。シュートのタイミングをずらされたとはいえ、我那覇に集中していれば防げたゴール。あれは今季の中で、明らかな自分のミスによる数少ない失点でした。それから僕の中で、「火がついた」んですよ、悔しくて。今思うと序盤の大量失点は、「GKにとっては仕方ないものばかり」と思っていた部分もあったのですが、自分に非がある失点をしているうちは周囲に対しても何も言えませんからね。

Q 最後にサポーターにメッセージを。

A 今シーズンは本当に、自分自身も悔しい思いをしましたし、サポーターの方々も同じだと思います。来年こそは一人一人が、100%の力を出し切る術を身に付けて、チームとして良いサッカーをしていきたいと思うので、またスタジアムに足を運んでください。応援も宜しくお願いします。

（04・11・25取材）

自らの非によって、
止められなかった我那覇のシュートが、
自分の中の何かに火をつけた。